



関東支部 第 140 回(2018 年度)研究大会・総会のご案内

スピーキング指導と評価を考える
—ポストセンター入試を見据えて—

会員・関係者各位

新年度が始まり皆様のお仕事も一段落した頃でしょうか。

大学入試のセンター試験に続く試験の試行も終わり、先生方の周りでもいろいろな意見が出ていることと思います。特に今まで殆ど行われていなかった speaking の力を測る試験については、試験対策や通常の授業内でどの様に力をつけさせていくかが興味深い点ではないでしょうか。そこで今回の支部研究大会では、speaking に焦点を当てて皆様と意見交換をしたいと考えております。職場の同僚の先生方をお誘いになってご参加いただき、実りある一日を過ごしていただければと思います。

大学で教鞭を執っている先生方からも、入試問題の作成などの参考になる話が聞けるのではないかと考えていますので、是非ご参加下さい。

2018 年 6 月

外国語教育メディア学会
関東支部長 見上 晃

記

主 催 外国語教育メディア学会(LET)関東支部
共 催 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター
後 援 東京都教育委員会
期 日 2018 年 6 月 16 日(土曜日)
会 場 筑波大学 東京キャンパス 文京校舎
<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/>
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1
東京メトロ丸ノ内線 茗荷谷駅下車「出口 1」徒歩約 5 分

外国語教育メディア学会(LET)関東支部事務局
〒310-8585 茨城県水戸市見和 1-430-1
常磐大学 (人間科学部 千葉敦研究室)
電話: 029-232-2511
E-mail: kanto-office@j-let.org

時 程

9:30 ~ 受付

1 階ロビー

10:00 ~

賛助会員展示

134 教室・1 階ロビー

134 教室および 1 階ロビーでは、ブースを設けて、賛助会員による展示を行います。

10:00 ~ 11:40

研究発表 1

118 教室

司 会 平賀 優子 (慶應義塾大学)

- 10:00 ~ 10:30 ① 研究発表
「L2 ライティング評価における『複雑性』の操作的定義と指標の変遷」
加藤 剛史 (筑波大学大学院生)
- 10:35 ~ 11:05 ② 研究発表
「英文ビジネス E メール・ライティングにあらわれる『ビジネス・センス』に関するケーススタディー」
戸田 博之 (東京大学大学院生)
- 11:10 ~ 11:40 ③ 研究発表
「リーディングにおける文脈化を通じた『理解』—定量・定析分析による多角的な考察」
鈴木 広子 (東海大学)

LET は 英語教育だけでなく、あらゆる外国語教育について最先端の理論とそれに基づいた実践方法を探究する学会です。言語理論、学習理論、認知心理学、脳科学などの基礎理論研究から、教授法や教材開発、学習アプリ開発、SNS 利用、モバイル活用に至る教育工学を含みます。研究発表、実践報告、シンポジウム、賛助会員（企業）プレゼン、様々な研修会などを 1 年を通して開催しています。もっと効果的で魅力的な授業にしたい、生徒のやる気を高めたい、など授業改善を求めるあらゆる学年の外国語教員にお勧めです。この機会にご同僚やお知り合いをご紹介ください。

10:00 ~ 11:40

研究発表・実践報告 2

116 教室

司 会 入江 潤 (明星学園小学校)

- 10:00 ~ 10:30 ④ 研究発表
「学術論文検索エンジンの要件のひとつ一文脈検索結果」
田淵 龍二 (ミント音声教育研究所)
- 10:35 ~ 11:05 ⑤ 実践報告
「英語ミュージカルを活用して英語学習へと動機づけ英語表現を習得させる授業」
河内山 晶子 (明星大学)
- 11:10 ~ 11:40 ⑥ 研究発表 (2016 年度関東支部研究支援プログラム成果報告)
「深層学習を用いて教員の問題作成手法を学習する AQG システムの開発」
中島 愛 (東京大学)
小野 雄一 (筑波大学)

参加者へのお願いとご案内

- 1) 参加費について
<会 員> 参加費は無料です。
<団体会員> 各団体につき 1 名が無料で参加できます。
2 人目からは 1,000 円をお支払いください。
<非 会 員> 1,000 円(資料代) 学生も同額です。
※筑波大学関係者(小中高大教職員・学生・院生含む)は無料です。
受付の際に身分証明書をご提示ください。
- 2) 録音・録画についてはお断りしています。ご了承ください。
- 3) 18:00 から 20:00 にラ・クローシェにて懇親会を行います。是非ともご参加いただければと思います。会費は 4,000 円です。受付時にお支払いください。

10:00 ~ 11:40

研究発表 3

134 教室

司会 鬼頭 和也 (城西大学)

- 10:00 ~ 10:30 ⑦ 研究発表
A Pilot Study of Japanese University Students'
Attitudes Toward English Varieties
FUNADA, Natsuno
(Graduate Student, University of Oxford)
- 10:35 ~ 11:05 ⑧ 研究発表 (2016 年度関東支部研究支援プログラム成果報告)
Language Ideologies Among Students in a
"Multilingual" School in Japan: A Case Study of
a Yakan-Teijisei High School
MORIYA, Shoko
(Graduate Student, University of Tokyo)
- 11:10 ~ 11:40 ⑨ 研究発表
Samuel Johnson's Parallelism: A Case of The
Rambler
OGURA, Masaaki (Osaka Ohtani University)

11:45 ~ 12:15

賛助会員プレゼンテーション

134 教室

司会 飛田 ルミ (足利大学)

賛助会員によるプレゼンテーションを行います。

12:15 ~ 12:50

総会・開会の挨拶

134 教室

司会 小野 雄一 (筑波大学)

会場校挨拶 久保田 章 (筑波大学)

LET 関東支部長挨拶 見上 晃 (拓殖大学)

12:50 ~ 13:40

ランチタイム

- 近隣のレストラン等を利用するなど、昼食は各自でお済ませください。
- 134 教室で昼食をとっていただいても結構です。
- ゴミは学会が用意したゴミ袋に捨てるようにして下さい。

13:40 ~ 14:30

スピーキング指導と評価を考える(1) テスト紹介

134 教室

司会 小野 雄一 (筑波大学)

英語の 4 技能測定を目的に外部英語試験を導入することとなり、高大接続における英語の教え方、学び方に対して波及効果が見込まれる。とかく、4 技能の中でもスピーキングテストが注目されているのは、それによって相当大きな波及効果が期待できるからであろう。換言すると、現場サイドとしては、それによって大きな改革が必要ではないのか、と期待させるからであろう。今回のシンポジウムでは、5 つのスピーキングテストを概観し、何を目的とし、どのような出題形式(タスク)を用いて、何を測ろうとしているのかを比較検討する。その上で、「創造性豊かで深い学びを反映するスピーキングを促す指導」を現場でどのように行なっていくべきかという点を考察していきたい。

テスト運営団体によるプレゼンテーション

- | | |
|---------------|-----------------------------------|
| (1) TOEIC | 伊熊 洋一 (一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会) |
| (2) TOEFL | 根本 斉 (TOEFL 国際教育交換協議会(CIEE)日本代表部) |
| (3) 英検・TEAP | 後藤 崇志 (日本英語検定協会 教育事業部) |
| (4) GTEC | 鹿島田 優子 (ベネッセコーポレーション) |
| (5) IELTS | 安田 智恵 (ブリティッシュ・カウンシル 試験部) |
| (6) Cambridge | 青山 智恵 (ケンブリッジ大学英語検定機構) |

14:30 ~ 15:00

テスト運営団体・賛助会員交流セッション

134 教室

テスト運営団体・賛助会員と質疑応答・交流を行う時間です。

ポスター発表(コアタイム)

134 教室

ポスターの展示時間は 10:00~15:00

①「日本人学習者のスピーチ不安軽減を目指すビデオ映像の活用」

岡田 靖子 (埼玉女子短期大学)

澤海 崇文 (流通経済大学)

いとう たけひこ (和光大学)

②「ディスレクシア学習者へのハイライト機能を用いた英文の読みの支援の課題について」

平野 明 (筑波大学)

15:00 ~ 15:50

スピーキング指導と評価を考える(2) 基調講演

134 教室

司 会 小野 雄一 (筑波大学)

英語スピーキング力の育成

—入試を踏まえつつ、入試を超えた指導と評価を目指して—

講 師 小泉 利恵 (順天堂大学)

大学入試において英語民間 4 技能試験が用いられることになっています。入試にスピーキングが入ることで、テスト対策が中心となり、本来伸ばしたい発表ややり取りの能力を伸ばすことができない可能性が指摘されています。それが起こらないようにするためには、どのような考え方で授業を計画したらよいのでしょうか。過去の言語テスト研究などに基づき、指導と評価を行う際に考慮すべき点について考えたいと思います。

16:00 ~ 17:20

スピーキング指導と評価を考える(3) 授業実践 134 教室

司会 小野 雄一 (筑波大学)

授業実践 1

「メール・ググルの長所と限界:対面ググルとの比較において」

講師 静 哲人 (大東文化大学)

授業実践 2

Developing Speaking Skills: Accuracy, Fluency and Creativity

講師 KASAHARA, Kiwamu
(Hokkaido University of Education)

授業実践 3

「Quizlet を用いたチャンク単位での口頭英作文訓練:『脱分節化』の意識を目指して」

講師 久保 岳夫 (早稲田実業学校)

質疑・応答

総括 小泉 利恵 (順天堂大学)

17:20 ~ 17:30

閉会の挨拶 134 教室

LET 関東支部副支部長 下山 幸成 (東洋学園大学)

18:00 ~ 20:00

懇親会 ラ・クローチェ

大会終了後、発表者や賛助会員、他の参加者との懇談の場として懇親会を開催します。
ご希望の方は当日受付にて申込をお願いいたします。費用は 4,000 円です。

住所: 東京都文京区小日向 4-7-10 2F
Tel: 03-3944-7878

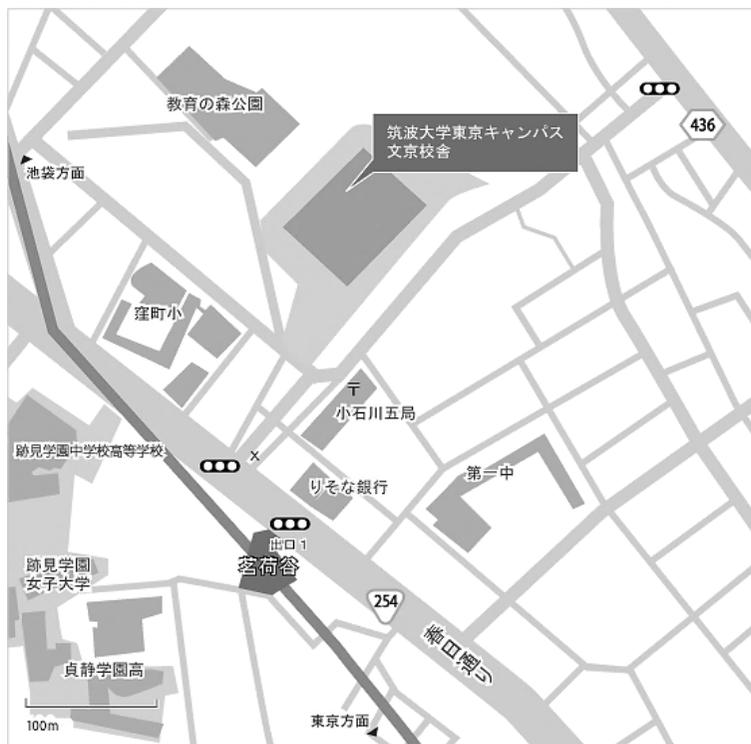
アクセス: 茗荷谷駅から拓殖大学方面へ 37m ほど



<https://www.carpediem1995.com/lacroce/dove-siamo/>より

アクセスマップ

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1 筑波大学東京キャンパス
東京メトロ 丸ノ内線茗荷谷(みょうがだに)駅下車「出口 1」徒歩約 5 分



<http://www.office.otsuka.tsukuba.ac.jp/wp/location/>より